

V 区民活動

1. 住民組織

令和3年1月1日現在

区分	連 合		総世帯数	単位町内会 加入世帯数	総世帯数に対す る加入率(%)	単位町内会平 均加入世帯数
	町内会数	単 位 町内会数				
市 計	90	2,188	974,647	677,662	69.53	310
中央区	16	257	141,781	89,087	62.83	347
北区	11	312	140,201	101,654	72.51	326
東区	10	274	130,492	88,344	67.70	322
白石区	8	142	111,760	65,851	58.92	464
厚別区	6	82	57,830	43,795	75.73	534
豊平区	9	293	118,408	80,858	68.29	276
清田区	5	102	46,565	35,293	75.79	346
南区	10	248	61,992	50,302	81.14	203
西区	8	286	105,274	74,512	70.78	261
手稲区	7	192	60,344	47,966	79.49	250

注) 総世帯数は、「国勢調査」の数値を基礎に、毎月の住民基本台帳による人口の増減を加えて算出した推計人口・世帯数(国勢調査ベース)。

2. 地区集会施設

令和3年4月1日現在

区 分	合 計	市 設 置 施 設				地元施設
		合 計	地区集会所	地区会館	その他の会館	市民集会施設
市 計	335	67	2	58	7	268
中央区	20	11	0	11	0	9
北区	49	8	1	7	0	41
東区	44	8	0	7	1	36
白石区	28	8	0	7	1	20
厚別区	17	4	0	4	0	13
豊平区	25	7	0	7	0	18
清田区	41	3	0	3	0	38
南区	58	9	1	5	3	49
西区	25	6	0	5	1	19
手稲区	28	3	0	2	1	25

注) 地区集会所：区出張所に併設の集会所(市管理)、地区会館：まちづくりセンターに併設の集会施設

3. 未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業（各区の主要事業は令和2年度）

(1) 事業の概要

市民に身近な区の創意や裁量により、区や地域の特性を生かした魅力的で活力ある地域づくりを進めるため、市民の主体的なまちづくり活動に対し、さまざまな側面から支援を行う事業として、平成4年度から実施していた「区のふれあい街づくり事業」を発展的に再編し、17年度から新たにスタートさせた。22年度からは、区の裁量を拡大しより効果的に事業を展開するため、男女共同参画の普及、スポーツ活動を通じた地域交流、高齢者の生涯学習に関する取組を支援する「地域活動推進事業」を本事業に統合した。また、25年度からは各区の区民協議会の取組を支援し、各区の課題等に柔軟に対応するため、新たに区民協議会特別推進枠を設けた。なお、28年度からは、多様な主体のネットワーク化促進や「地域まちづくりビジョン」を策定した地域に対する支援など、「市民力の結集」の実現に向け、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」として再編した。

詳細な内容や予算額には差異があるが、区の創意や裁量を生かして区や地域の課題に迅速かつ柔軟に対応するための事業は、すべての政令指定都市において展開されている。

平成19年4月以降、札幌市自治基本条例が施行されたことにより、まちづくりセンターと区役所を地域の拠点と位置づけ（第28条・第29条）、より地域住民との協働を進めるため、事業全般にわたって「まちづくりへの市民参加（第23条）」「わかりやすい情報提供（第26条）」に特に意を注いで事業を実施している。

当該事業の実績では、7割以上が住民主体でなされており、地域住民の参加によるまちづくりを継続的に支援することができる事業となっている。

なお、事業の運営に関しては、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業運営要綱」（以下「要綱」という。）により定めている。

(2) 事業の内容（令和2年度の取り組み）

事業内容については、要綱にある事業内容を基本とし、各区で次のような点に着目して事業を展開した。

ア 地域住民のふれあい・交流、まちづくり団体による情報の共有・交流やネットワークの形成など、地域住民の主体的な「まちづくり活動※参照」を支援するために効果的な事業

イ 区や地域が持つ自然・文化・歴史・産業・教育研究機関・企業などの資源や人材を活用し、又は様々な地域課題の解決に向けて実施する事業

ウ 地域のまちづくり活動を通じて、男女共同参画の推進、豊かなスポーツ環境の創造、高齢者の生涯学習や生きがいをづくりを行うことを目的とした事業

エ 区民協議会の活動への支援や同協議会の意見等を活かして区のまちづくりを活性化することを目的とした事業

オ 将来の展望とその実現に向けた活動指針である「地域まちづくりビジョン」に資する事業

※ まちづくり活動：地域（まち）が抱えている課題に対応して、建物などの整備や活動の実践により解決を図り、暮らしやすいまちを創っていく活動のこと。

(3) インターネット・ホームページ・アドレス

札幌市役所－市民自治の推進HP内の未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業のページ

<http://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/gugenka/miku-machi/top.html>

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～中央区～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちづくりセンター協働事業	まちづくりセンターを拠点としたコミュニティづくりや、地域課題の解決に向けた取り組みなど、地域住民が主体となって進めるまちづくり活動事業に対し、助成を行うとともに、活動支援を行った。
区役所からの積極的な情報提供と区民との情報交換	まちの魅力再発見事業	各地域における魅力や特色、まちづくり活動の取り組みなど、区内のさまざまな情報を紹介・発信することを目的に、年度上期にはフリーマガジン「まちのモト」を発行し、下期には動画版「まちのモト vol.1」を配信した。
互いに助け合い、安全・安心を実感できるまちづくり	認知症周知強化事業	認知症になっても住み慣れた地域で生活を続けられるよう、正しい知識の普及を目的に、認知症パネル展の開催や区内4か所の認知症カフェと共同で認知症カフェ一覧の作成等を行った。
子どもの健やかな成長を育むまちづくり	世代間交流子育てフェスタ	子育て環境の充実を図ることを目的に、子育てについて気軽に相談してもらえるように、こそだてインフォメーションなどのPRや利用者支援事業の広報用ステッカーと周知用グッズを関係機関や市民に配布した。
いつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくり	食をキーワードとした地域活性化事業	食育ボランティアと連携して作成した減塩カルタを、区内の小中学校や児童会館と連携し、減塩情報の発信を行った。また、中央区ホームページやカルタ絵作者、クリニックなどからSNSによる発信を行った。 また、地下歩行空間で開催した食育のパネル展を利用し、幅広い世代へ食育に関する啓発を実施した。 食育マスコットである「モリス」を活用した啓発品を作成し、食育ボランティアがそれを持ち歩くことで、食育情報の発信を行った。
	元気がつながるまち・ちゅうおう	いつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくりの実現に向け、コロナ禍における一人一人の健康づくりの知識普及のため、ウォーキングダイアリー等を配布して普及啓発を行った。
誇りと愛着を持てるまちづくり	市電と沿線の魅力掘り起こし事業	市電と沿線の魅力をPRするため、(一財)札幌市交通事業振興公社及びクリプトン・フューチャー・メディア(株)、市電の会の協定により、令和2年11月から令和3年3月末まで、「雪ミク電車2021」を運行した。 また、「市電の会」と協働し、令和3年1月に開催された市電フェスティバルWEB版で市電と沿線地域の魅力満載の写真を展示した。
	協働による地域の環境美化事業	中央区道路環境美化活動(アダプト・プログラム)に基づき、活動団体が継続的に行うごみ拾い等の環境美化活動に対して、清掃用具等の支給、ボランティア保険への加入等の活動支援を行った。令和2年度は、新規1団体との覚書の調印を行い、活動団体は58団体となった。
	チャレンジ・ザ・531Q	藻岩山の魅力を感じてもらおうとともに、より多くの市民の興味を引き出すことを目的として、藻岩山の魅力が伝わる動画作品を制作し、併せてクイズ企画を実施した。
身近な暮らしの中から地球環境を考えるまちづくり	ふれあいフラワー事業	地域住民同士のふれあいの機会の創出や地域の環境美化意識の向上、地域活動の活性化等を目的に、幼稚園児・小中学生と地域住民が参加し、JR桑園駅前周辺や駅前広場で植花を行った。
	旭山記念公園の自然を活用した環境体験学習	子どもたちに自然環境の大切さへの理解を深めてもらうことを目的に、市民活動団体が旭山記念公園で行う自然にふれあう様々なイベントに対して支援を行った。
地域ネットワーク促進	地域資源を活かした食育交流事業「市電を活用した食育カフェ」	高齢者の食生活改善に繋がる環境整備を行なうことを目的に、中央区食生活改善推進員協議会と連携して、高齢者向けの食事メニューの冊子を作成・配布や、地域団体の活動を通じて食育情報の発信を行うなど活用の促進を図った。

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～北 区～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちづくりセンター事業	まちづくりセンターが主体となり、各地域の活性化や課題解決に資する取組を実施した。
	地域コミュニティ交流促進事業・まちづくり活動サポート事業	各連合町内会が実施する広報紙作成といった、地域コミュニティ活動に対し助成による支援を行った。 また、まちづくり活動に必要な備品等を購入した。
	地区まちづくり協議会活動支援事業	連合町内会をはじめとした地域のまちづくりに携わる各種団体から構成される「地区まちづくり協議会（コミュニティネットワーク会議）」が実施する、まちづくりに資する活動や事業に対し、助成による支援を行った。
	まちづくりセンター機能強化事業	まちづくりセンターの、地域に対するコーディネーター機能を高めるための整備等を行った。
わがまち・地域活性化事業	学生と地域の連携によるまちづくりの推進	地域の児童・学生・町内会が共同で行う活動に対して助成による支援を行った。
	北区アダプト・プログラム支援事業	北区内の道路などの清掃活動を希望する企業や団体を対象に、北区と各団体が覚書を交わし、協働による環境美化活動を推進した。
	地域と行う区役所周辺美化事業	区役所周辺の花壇整備を行い、花や緑の豊かな環境づくりを進め、歩行空間の美化を行った。
	歌舞伎の伝承	地域で農村歌舞伎を保存・継承する団体が主催する公演活動に係る費用の助成を行った。
	歴史と文化の八十八選再整備	「北区歴史と文化の八十八選」について、コースガイドの小学校配布や、市民参加型の街歩きイベントを行った。
	亜麻のフラワーロード	札幌駅北口に面する北8条線で、北区にゆかりの深い亜麻を用いた花壇整備を行い、歩行空間の美化を行った。
	災害時につなげる高齢者等要配慮者の見守り体制推進	地域における「見守り、支え合い」の推進を図るための啓発グッズを作成した。
	北区地区防災マップづくり支援	自主防災組織を結成し、地区防災マップの製作に取り組む町内会又は自治会を対象に製作費を助成した。
	みんなで作る安全で安心なまちづくり	地域の安全で安心なまちづくり活動を推進するため、スクールゾーン標識の整備や補修を行った。
	北区ガイド作成事業	北区の避難場所や各種公共施設が記載された地図のほか、歴史や文化なども掲載した「北区ガイド」を作製した。
男女共同参画事業	パネル展を開催し、男女共同参画の理念及び実践について広く区民に啓発した。	
区民協議会特別推進枠	北区まちづくり協議会支援事業	運営協議会を実施するとともに、今後のまちづくり協議会の活動テーマや、まちづくり活動の手法を検討すべく、会員を対象にアンケート調査を実施した。
	北区地域防災レベルアップ事業	市総合防災訓練において、インターネットライブ配信を行うなど、防災の普及啓発のための事業を実施した
	避難所運営実地訓練業務	次年度以降のため、避難所運営実地訓練のための消耗品購入や寝袋クリーニングを行った
	北区まちづくりキャラクター「ぼっぴい」活用事業	北区への愛着の醸成及び北区のまちづくりの推進に寄与することを目的に、北区まちづくりキャラクター「ぼっぴい」の普及啓発用物品の作成を行った。
	北区魅力発信事業	北区の魅力を広く周知するため、北区内の郵便局などと連携し、北区の魅力がイラスト化されたポストカードの作成及び配布を行った。
地域ネットワーク促進事業	地域ネットワーク促進事業	様々な団体や人材の連携によって組織される団体等が行う、地域課題解決のための活動に対し、助成による支援を行った。

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～東 区～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	栄東地区まちづくり活性化事業	子どもたちが住み良く、将来大人になったときにも、より暮らしやすい地域コミュニティを上げるという目的で設置された「栄東地区子ども未来会議」により、「花いっぱい事業」、「雪まつりウェルカム事業」、「情報発信事業」の3つの事業を実施した。
	元町地区多世代交流事業	元町地区におけるまちづくりの活性化を図るため、憩いの場の創出及び世代間の地域交流の場を設けることを目的として、元町会館前広場において、花植え等による「美化活動」をそれぞれ実施した。
地域ネットワーク促進事業	地域と大学等の連携による東区健康づくりフェスティバル	東区で健康づくりを実践している各団体及び東区と連携協定を結んでいる札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、天使大学、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学との連携により、ウォーキングに関する内容や地域での健康づくり活動に関する内容のパネル展を開催した。
わがまち・地域活性化事業	東区広報ラジオ番組「タッピー通信」	コミュニティFM「さっぽろ村ラジオ」で、区政情報や区内のイベント情報などを紹介。まちづくりをテーマとした親しみやすい番組を放送した。
	札幌黄PR事業	東区の農産物である「札幌黄」の存在や魅力を継承していくためのPR事業。令和2年度については、札幌黄の歴史や特長を掲載した「たまねぎ型リーフレット」を更新・増刷したほか、札幌保健医療大学に札幌黄を活用したレシピを考案してもらい、東区民ホームページに掲載し情報発信を行った。
	東区まち美化プログラム	環境美化に対する市民意識の高揚と協働によるまちづくりの推進を目的として、東区内の団体と東区役所が覚書を交わして実施する道路清掃等の環境美化活動。令和2年度は新たに2団体が参加し、令和2年度末時点で計24団体の参加となった。
	フラワーロード事業	地域団体や町内会、商店街等が連携して、花による魅力ある街並みづくりの形成を目指すことにより、地域美化及び交流の促進を図ることを目的として、地域住民が主体となり、モエレ公園通と北8条通において植花活動を行った。
	東区子どもまちづくり体験塾	子どもたちを対象に、地域の方々と接するとともに体験を通じて地域の一員としてまちづくり活動への関心を高めてもらうことを目的とした事業。令和2年度は自宅で参加できる東区の歴史とまちづくりを題材としたクイズ冊子「タッピーなぞときチャレンジ」を製作し、参加者へ配付した。
区民協議会特別推進事業	声かけあい、支えあう安心安全なまちづくり 区民協議会支援	地域において「きずなと信頼、安心・安全」が育まれることを目指して区民協議会が取り組んでいる「あいさつ声かけ運動」の支援や区内2地区での防災研修会実施支援、北光小学校で防災授業を実施した。さらに避難所運営に係る用品の整備を行った。

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～白石区～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちづくり活動支援事業	地域の特性を活かした市民自治によるまちづくりを進めるため、各まちづくり協議会等が行う、防犯・防災、環境美化等の地域課題解決に向けた取組や魅力ある地域づくりの活動に対して、必要な経費を助成するなどの支援を行った。
	白石区地域コミュニティ活動活性化支援事業	町内会への加入や活動への参加を促進するため、町内会活動ガイドの作成を支援した。
	白石区複合庁舎にぎわい協働プロジェクト事業	白石区複合庁舎の「まちづくりイベント広場」を地域団体等のまちづくり活動の場として提供するとともに、開催イベントの情報発信を通して、まちづくり団体の取り組みの支援を行った。
	しろっぴーフォトコンテスト	区のマスコットキャラクター「しろっぴー」のモチーフである雪だるまのフォトコンテスト実施により、未来のまちづくりを担う子どもたちの創造力と独創性を育むとともに、屋外での活動機会が少なくなる冬期間において、気軽に身体を動かす機会を地域住民に提供し、健康・体力の増進を図ることを目的に実施した。
	白石区マスコットキャラクター「しろっぴー」「くろっぴー」活用事業	白石区マスコットキャラクター「しろっぴー」「くろっぴー」の意匠の提供や「しろっぴー」の着ぐるみの貸出しを行った。
	ニューススポーツふれあい事業	町内会やPTA、地域のサークルなどの行事でニューススポーツを気軽に楽しんでもらうため、用具の無料貸出しを行った。
	フリーペーパーによる魅力発信事業	フリーペーパー「JP01 特別号【ゼロワンエリア 白石区】」（4万部発行）に白石区の魅力をPRするページを掲載し、区内各所で配布した。
	みんなで作る安全で安心なまちづくり	地域力を高め、災害や犯罪、交通事故の被害を軽減し、安全・安心なまちづくりを推進するため、地域の活動に必要な用品等の支援を行った。
区民協議会特別推進事業	区民協議会特別推進事業	小学校の生徒に対して、自転車交通安全教室を実施し、危険な自転車運転である、「歩道上の縦横無尽走行」「一時不停止での交差点進入」などによる交通事故の再現等を行い、安全な自転車利用を呼びかけた。また、指定避難所に対し、災害対策用品の支援を行った。

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～厚別区～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業 (各地区のまちづくり会議支援)	厚別南～陽だまりロード三世代交流事業～	厚別南地区のシンボリック的存在である陽だまりロードへの愛着を高めるため、地区内の高齢者と子どもが交流できるイベントを地域住民が企画。参加者同士の密を避けるよう工夫しながら、フォトラリー方式によるウォーキングイベントを実施した。
	厚別西～健康づくり交流事業～	地域の重要な課題である高齢者を中心とした地域住民の健康づくりのため、パークゴルフを通じて、健康増進、体力向上や地域住民の交流を図った。
	もみじ台～小学校児童との地域交流事業～	子どもの健やかな育ちを、地域全体で見守り・支えて行く意識を醸成するとともに、学校と地域との絆を深めてもらうため、周辺の街路樹、花壇等に地域住民と児童が共同で花苗を植え、その後の維持管理を通じて交流を図った。
	青葉～ふるさと思い出づくり事業～	青葉地区で活動する様々な団体の相互協力のもとに、スポーツや文化活動などを、ふるさとづくりという総合的な視点から企画立案した「青葉の森音楽会」を実施し、世代間交流を図った。
	厚別東～厚別東安全・安心まちづくり事業～	防災に関する知識の習得、防災意識の向上など安全・安心な地域づくりへの取組を支援するため、防災に関する講演会及び緊急ヘリポートの雪踏みを実施した。
地域ネットワーク促進事業	あつべつ食文化祭支援事業	厚別区にある食品企業やその製品への愛着心や関心を高め、地域の魅力アップを図ること等を目的に、区民協議会と区内食品企業や、近隣の商業施設・ホテルが連携して実施するイベントである「あつべつ食の文化祭」を規模を縮小して開催した。
わがまち・地域活性化事業	新さっぽろ冬まつり	新さっぽろ駅周辺地区のにぎわいづくりや、子どもたちに対する冬の楽しみの提供を目指したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、会場でのイベントは実施せず、特別企画「冬にまつわる!!写真&川柳コンテスト」を実施し、コロナ禍でも冬に親しむ機会を提供した。
	厚別区広報ラジオ番組「厚別・ふれあい・ほっと・ステーション」	厚別区を主な聴取地域とするコミュニティ FM ラジオにおいて、週1回15分程度程度の番組を制作・放送。区民ゲストを招き、地域のまちづくり活動などの紹介を行い、区民のまちづくり活動への参加意識を高めた。
	防犯対策の推進事業	厚別区各地区や各小学校など様々な団体による自主的な防犯活動を支援するため、札幌市子ども110番の家支援事業のPR活動や、緊急事案対応として地域と警察と区役所との見守り活動や、青色回転灯装着車による防犯パトロールを実施した。
	地域連携事業（子育て支援）	子育て世代が地域でつながりを深め、安心して子育てできる環境をつくり、地域の子育て力を活性化することを目的に、地域イベントへの高校生の参加促進や、子育て支援者講演会を計画し、区内各高校に向けての働きかけや事前の準備を行った。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、イベント当日に向けた支援と講演会は中止した。
	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の実現に向けた施策に対する市民の理解を深めることを目的として、厚別区ホームページ上でWEBパネル展を実施したほか、公共交通機関を使用したパネル展開催及びパープルリボンと簡潔なメッセージを用いた掲示物の掲示を行った。
	三者連携事業	産官学連携の取組として、北星学園大学・株式会社札幌副都心開発公社との協働により、厚別の魅力の再発見・発信を目的としたフォトコンテストを開催した。
区民協議会特別推進事業	区民協議会支援事業	区民が主体となり、創意工夫によるまちづくりを推進するため、区民協議会の運営（運営委員会等の開催）や「厚別歴史散歩マップ」の制作など、コロナ禍における区民協議会主催イベントの実施について支援した。

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～豊平区～

	事業名	事業内容
地域活動を活性化するまちづくり	コミュニティ活動支援事業	地域住民の主体的なまちづくりを支援するため、地域のコミュニティ活動に対して助成金の交付を行った（9地区合計65事業に交付）。
	プロスポーツ応援デー連携事業	豊平区内のプロスポーツチームが実施する豊平区民を対象とした無料招待（区民応援デー）への協力を通じて、スポーツ観戦文化の浸透を図った。また、区内スポーツ施設前への地域と選手の協働による植花活動や、チームへのリング贈呈をはじめ、各チームと連携してまちづくりに取り組んだ。
	とよひらフラワーコンサート	地域の音楽振興や学校と地域の交流を促進するためにコンサートを開催しており、令和2年度はコロナのため、地域FM（FMアップル）を活用して希望する参加団体の演奏を放送する形で実施した。
	「魅力発見 ほ～！へ～！カルタ」の普及啓発	区内の歴史やシンボルなど、豊平区の魅力を集約したオリジナルカルタ「魅力発見 ほ～！へ～！カルタ」の一層の普及を図るため、区及びまちづくりセンターでの貸出を強化したほか、区HPにおけるカルタの紹介ページをリニューアルし、カルタの魅力や内容を分かりやすく発信した。
	豊平区キャラクター活用事業	区のキャラクター「こりん」と「めーたん」を活用することで、事業や行事を盛り上げ、地域及び商店街の活性化を図っており、意匠や着ぐるみの利用促進や、キャラクターによる情報発信を行った。
	とよひら“風土”コレクション	栄養、食生活に対する地域住民の意識向上を図り、子どもたちの健やかな成長と、区民一人ひとりの健康な生活をサポートするため、区内協力店や地域の団体と連携し、「豊平区ゆかりの食材」を活用した食育の普及啓発やwebセミナーを実施した。また、区内大学と連携して、英語版レシピを作成し、世界に向けて情報発信を行った。
安全・安心な暮らしを支えるまちづくり	「安全・安心なまちとよひら」推進事業	小学生の交通事故防止をはじめ地域住民の交通安全や意識の向上を促すため、歩道に貼るストップマークの小学校への配布や、劣化が進んでいるスクールゾーン巻き付け看板の更新を行った。
	「豊平区ネットワーク会議」運営事業	地域住民と行政などの関係機関等の連携と協働により、安全安心で心豊かな住みよいまちづくりを進めるため、まちづくりに関わる区内の様々な団体に対して、まちづくり事業に関する情報提供等を行った。
地域で互いに支え合うまちづくり	とよひらまちづくりパートナー事業	多様な担い手によるまちづくり活動を推進するため、地域のまちづくりに参加・協力する意欲のある企業・学校・各種団体を「まちづくりパートナー」として登録し、地域とマッチングしている。令和2年度は新たに4社が加わり、計50の企業・団体が活動している。
豊かな自然・四季と共存するまちづくり	とよひら HANA-LAND 事業	地域の皆さんと区内を花で彩り、色彩豊かな美しい街並みを目指すとともに、花を通じたふれあいの場を作り、地域の連帯やふるさと意識をはぐくむことを目的とした植花活動で、区内の町内会や小中学校に花苗や花の種を提供している。コロナの影響で規模の縮小はあったが、代わりに区内の公共施設等でも植花するなど工夫して行った。
	リング並木を活用した区の魅力PR事業	区のシンボルである「環状通リング並木」で収穫されたリングを活用して、地元の小学生が地域の歴史やまちづくり活動を学ぶ支援を行ったほか、プロスポーツチーム等へのリング贈呈式や地域行事へのリング配布を通じて（合計2,382個のリングを贈呈・配布）、自然豊かな豊平区の魅力についてPRした。

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～清田区～

	事業名	事業内容
区民との情報共有をすすめるまちづくり	単身高齢者へのカレンダー配布事業	緊急連絡先や福祉の相談窓口等を掲載し、区内の風景や地域行事の写真をデザインに利用したカレンダーを制作。民生委員・児童委員等を通じて一人暮らしの高齢者等に配布した。
	清田区検定事業	区に対する愛着やまちづくりに参加する意識を持ってもらうため、区に関する歴史や自然環境、区役所実施の事業を内容とする検定を実施した。
区ビジョンの実現に向けたまちづくり	子どもまちづくり事業	子どもたちが地元への愛着を持ちながら成長していけるよう新たにWEBやSNSを活用した「謎解きイベント」の開催のほか、みんなで創ろう明日のきよたの改訂・配布を行った（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、「楽しく体験！おしごとごっこフェス」は中止）。
	KIYOTA SWEETS 推進事業	スイーツを通じて区の魅力を発信し地域の活性化を図るため、区内菓子店と協力して設立した「きよたスイーツ推進協議会」を中心に、「きよたスイーツスタンプラリー」の実施のほか、区内外のイベントでの出展・PR等を行った。
地域福祉が息づくまちづくり	清田区災害時助け合い活動支援事業	地域における自主的な取組推進を図るため、出前講座を1団体に実施したほか、清田区防災訓練において災害時支え合いハンドブックを配布するなど普及啓発を行った。
環境にやさしいまちづくり	環境にやさしいまちづくり事業	「アダプト・プログラム制度」には区内16団体が参加し、地域と行政の協働による環境美化活動を推進した（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により「ホタル観賞事業」は中止）。
安心して暮らせる安全なまちづくり	安全安心まちづくり事業	防犯意識の向上を図るため、広報媒体による情報発信、高齢者を対象とした特殊詐欺被害防止のための啓発活動を実施した（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、「防犯講演会」「安全教室」は中止）。
食の安全・安心の確保に関するまちづくり	安全・安心な食のまち・きよた推進事業	食の安全・安心に関する啓発活動を行うとともに、区役所庁舎内において「食の安全・安心クイズラリー」を実施し、区民の啓発に努めた。
アクションプラン2015における区のまちづくり事業	きよたマルシェ開催事業	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により「きよたマルシェ&きよフェス」の大規模な開催は中止し、「食」や「音楽」などの地域ならではの魅力を掲載する冊子（JP01 きよた）を制作した。 なお、音楽イベント「きよフェス」は単独開催し、また、清田区内で作られる農産物を販売するイベントとして、試行的に規模を縮小した「きよたプチマルシェ・ちびマルシェ」を開催した（平日に区役所ロビー内などにおいて開催）。
	花とみどりのネットワーク事業	区のまちづくりの視点「みどり」をキーワードとし、「ガーデニング・コンテスト」を実施した（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、「フラワーアレンジメント体験講座」、「ガーデニング講習会」は中止）。
	地区ウォーキングによる健康づくり推進事業	清田Hi遊会（清田区健康づくりリーダー）により実施されている「地区ウォーキング」は、4月から11月まで各地区月3回の開催を支援し、普及・啓発を図った。
まちづくりセンターを活用したまちづくり	北野まちづくりセンター	みどりのカーテンや花苗等の緑化、ペレットストーブの活用により環境負荷の低減と環境美化に関する取組の支援を継続した。
	清田中央まちづくりセンター	まちづくりセンター内の配架スペースの拡充を図ることにより、地域への情報発信の強化を行った。
	平岡まちづくりセンター	まちづくりセンター内の配架スペースの拡充を図ることにより、地域への情報発信の強化を行った。
	清田まちづくりセンター	地域の諸団体と連携し、「きよたまちの灯り」等への支援を行った。
	里塚・美しが丘まちづくりセンター	安全で安心なまちづくりに向け、地域の防災活動を支援するとともに、地域のふれあいや交流を深める活動の支援を行った。

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～南 区～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちづくりセンター協働事業	地域力の向上を図るため、地域のまちづくり活動10事業を、まちづくりセンターが中心となって支援・展開した。
地域ネットワーク促進枠	まちづくり活動スタートアップ支援事業	地域住民の自主的なまちづくり活動が継続的に行われるためのスタートアップ支援として、地域課題の解決に向けて活動している団体の新規事業に対して助成金を交付した。
わがまち地域活性化枠	南区地域ふれあい事業	地域力の向上や地域のコミュニティづくりの進展が期待される事業に対して助成金を交付した。
	まちづくり推進事業	インターネット環境を整備し、まちづくりに関する情報収集力及び情報発信力を高め、まちづくり活動を推進するため必要な環境の整備を進めた。
	子どもを見守る活動推進事業	「地域みんなで子どもを見守る南区」運動の一環としてパトロール腕章及びステッカーの交付と、春に「新入学児童見守り運動」を実施した。
	スポーツ振興事業	地域におけるスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会の支援などを行った。
	落葉や剪定枝等を利活用した環境保全事業	地域住民の交流促進及び資源のリサイクル推進を図るため、落葉堆積場の設置、腐葉土の製作及び循環型モデルガーデン製作のための支援を行った。
	学生が主体的に取り組むまちづくり活動への助成事業	学生団体の自主的なまちづくり活動が継続的に行われるためのスタートアップ支援として、南区の「魅力」を様々な方法で発信することを目的とする事業に対して助成金を交付した。
	地域資源を活用した南区の魅力PR事業	区内の小学生を対象に札幌軟石を使った工作体験キット配布事業を実施したほか、区の地域資源である「芸術」をPRするため、市内を走行する路線バスにアート装飾を施して通年走行を行った。
	新しい生活様式に対応した通信環境整備事業	新型コロナウイルス感染症に対応しながら地域のまちづくり活動を支援するため、オンライン会議の環境整備を行った。
	花による南区イメージアップ事業	南区の花コスモスをPRするため、コスモスの種付き啓発品を作成し、転入転出時期に区役所来庁者へ配布した。
区民協議会特別推進枠	シーニックバイウェイとの連携事業	当該団体が行うまちづくり活動の支援及び関係団体間の連絡調整等や当該団体の取組及び南区の魅力の情報発信を行った。
	南道央圏連携事業	観光振興や防災・災害対策など、広域的な取組を行うため、「ようてい・西いぶり広域連携会議」に参加する市町村と意見交換を行った。
	高齢者、障がいのある方にやさしい待合ロビーの構築事業	全ての来庁者、特に高齢者、障がいのある方にやさしい待合ロビーとするため、待合ロビーの環境整備を行った。
	真駒内駅前花いっぱい事業	地下鉄真駒内駅前正面モニュメント周辺花壇の整備、管理及び花苗等の支援を行った。

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～西 区～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働枠	まちセン地域サポート事業	区内8か所のまちづくりセンターが、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえ、これに応じた独自事業を企画・実施した。
わがまち・地域活性化枠	琴似発寒川環境保全推進事業	琴似発寒川河畔において、地域が主体となった一斉清掃（5月と9月）を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止した。また、例年実施しているやまめの稚魚放流については、住民が参加する事業は中止し、事務局で放流を行った。
	コトニジャズ	「おうちでコトニジャズ」と称し、プロのミュージシャンによるジャズ演奏の動画を制作。深夜の地下鉄琴似駅での無観客による演奏や過去の公演の様子を西区公式ホームページで公開し、コロナ禍においても区民が気軽に文化芸術に触れる機会を提供した。
	コトニクラシック	西区役所において、プロの奏者によるクラシックコンサートを開催した。また「おうちでコトニクラシック」と題し、過去の公演動画を西区ホームページで公開し、コロナ禍においても区民が気軽に文化芸術に触れる機会を提供した。
	地域の安全・安心対策事業	新型コロナウイルス感染症への対策を踏まえた避難所開設や運営手順確認のため、模擬訓練等を取り入れた避難所開設訓練を実施した。
	ウェルカム西区！転入者子育て交流会	子育て世代の転入者が地域とのつながりを持つことにより、子育てに係る不安や負担を軽減するため、西区に転入した0～3歳の子と保護者を対象に、参加者同士の交流会をオンライン（zoom）で実施した。
	やさしさと笑顔がいっぱいの子育て	西区HPに「さんかくやまベェと一緒に遊ぼう♪」をテーマに体操や絵描き歌など乳幼児親子が楽しめるページを作成した。家庭では親子の触れ合いを楽しみ、地域の子育てサロンにおいては地域の方々や乳幼児親子が事業を通し、つながるきっかけづくりとなるよう実施した。
	西区情報プラザ放送	コミュニティFMラジオ「三角山放送局」で広報番組を放送し、市政情報や地域の話題などを発信した。
	アイスクャンドル普及PR事業	西区の冬の風物詩として、冬期間の街並みの景観向上と地域住民の交流促進を目的に西区内の各地域で行われるアイスクャンドル事業のPRを行うとともに、区役所周辺にキャンドルを設置するなど魅力あるまちづくりに寄与した。
	高齢者教室事業	例年「西区ときわ大学」として、区内の65歳以上の方を対象に、生涯学習やまちづくり活動へのきっかけづくりを目的とした講座を実施。令和2年度は「WEB版西区ときわ大学」と題し、オンライン上で10講座の動画を配信した。
西区環境まちづくり協議会支援助成金	公園や川での自然体験を通して環境について学ぶ「エコキッズ・プログラム」「西区コドモ自然学校」や、ラジオ放送での情報発信を通じて環境活動やSDGsの普及啓発を行った「ラジオで西区環境広場」など、区民協議会「西区環境まちづくり協議会」が実施しているさまざまな環境活動を支援した。	
区民協議会特別推進枠	西区アダプト・プログラム	アダプト・プログラムによる地域の清掃活動を支援・拡大し、区内において49団体が道路や公園の清掃や、転倒防止のための冬の砂まき活動及び違法広告物の撤去などを行った。
地域ネットワーク促進枠	地域ネットワーク促進事業	令和2年度よりSDGsの普及啓発に取り組むこととし、普及啓発品の作成・配布、SDGsに取り組む企業を区HPで紹介、また、区民により身近にSDGsを感じてもらうことを目的として、フォトコンテストを実施するなど、多方面から普及啓発活動に努めた。

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～手稲区～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	自治の拠点「まちづくりセンター」を通じた地域まちづくり支援	区内7か所のまちづくりセンターを中心に、まちづくり協議会など地域との協働により、地域課題解決のきっかけづくりを行った。また各まちづくりセンターごとに、各地区の活動や出来事を紹介する情報誌を13,400部発行。併せて区ホームページにも掲載した。
わがまち・地域活性化事業	まちづくり支援情報誌発行等	直近3年で発行した情報誌「手稲のまちづくり」の内容をまとめ、区内7地区のまちづくり活動を紹介するパネル展を開催。
	小学生の夢・10年後の手稲のまち事業	区内全小学4年生から「10年後の手稲のまち」をテーマとした絵を募集し、アイデア作品賞について表彰を実施した。
	ふるさと手稲歴史発見事業	地域への愛着や郷土の歴史に対する関心を高めるため、「手稲区歴史ガイドマップ」の配布を行ったほか、手稲の歴史にまつわる資料やパネル等を「手稲歴史資料展示コーナー」に展示した。
	北海道科学大学との連携	北海道科学大学・手稲区連合町内会連絡協議会・手稲区で締結した「地域包括連携協定」と「防災連携協定」に基づき、様々な事業において連携し、人的・知的資源などの相互活用を図った。
	小樽市・石狩市・手稲区交流事業	隣接する小樽市・石狩市との会議開催のほか、合同交通安全街頭啓発、「あいくる」での観光プロモーション行事等を実施するなど、両市との連携の強化を図った。
	男女共同参画推進事業	日常生活において男女がともに支え合い、それぞれの個性と能力が発揮できる社会の理解を深めるため、パネル展及び公開学習会を実施した。
	ていね活用事業	区民の手稲区へのふるさと意識の醸成・愛着を向上させるため、出生届、婚姻届を提出された方を対象に、お祝いの気持ちを込めて手稲区キャラクター「ていね」の形をしたスポンジの配布などを行った。
	「手稲区ガイド」の発行	手稲区ほぼ全域の地図と区内の公共施設や区の概要など身近な情報を記載した「手稲区ガイド」を12,000部作成し、区内各所で配布した。
	広報媒体多様化による区の情報発信機能強化事業	「地域活動の活性化」及び「安全・安心なまちづくり」を推進するため、地域住民に慣れ親しまれているコミュニティー放送を活用し、地域に密着した情報を発信。
		ていねっていいね！ ていねくフォトコンテスト
区民協議会特別推進事業	区民協議会「ていねっていいね！区民の集い」支援事業	区民協議会「ていねっていいね！区民の集い」の「区の魅力づくり」に関する取り組みとして、区民に親しまれてきた「てっぽく・ひろば」の今後についてアンケート調査を行うとともに、その結果を参加者に書面で報告を行った。